南会津地域再生可能エネルギー推進協議会設立趣意書

**資料　１**

　福島県南会津地方は神奈川県とほぼ同じ面積を有し、その約９３パーセントを森林が占め、かつては林業と製材業などの関連産業が地域の経済を支え発展してきました。

　しかし、木材価格の低迷や林家の高齢化などにより、林業の停滞と森林の荒廃が進行し自然災害の遠因にもなっています。

また、平成２３年３月１１日の東日本大震災とその後の原子力発電所事故による観光や農産物などへの風評被害が生じ、さらには同年７月の新潟・福島豪雨災害により道路や橋などのインフラが大きく損なわれ、一部の地域では２週間以上も停電が続くなど、改めて地域資源を活用した地産地消のエネルギーの重要性が認識されたところでもあります。

こうした中にあって再生可能エネルギーの普及促進は安全・安心の視点、地域資源の高付加価値化につながるだけではなく、観光資源にもなりえることから交流人口の拡がりも期待できるなど、さまざまな面で地域の振興に繋がるものと考えております。

こうしたことから、今般、南会津地方の自然エネルギーや未利用資源の付加価値化を通じ、地域経済の発展を目指すため、「再生可能エネルギー」に関わる多くの関係者が結集し、交流する場を設けることで円滑な事業化に向けて「南会津地域再生可能エネルギー推進協議会」の設立を決意いたしました。

今後、この協議会において、森林資源に関わる多様な団体の皆さま、水力や太陽光発電の事業者の皆さま、食のものづくりに取り組む皆さま、資源の再利用などに取り組む事業者の皆さまや行政機関など、多様な団体が活発に交流・連携することにより、南会津地方における再生可能エネルギーの普及が加速度的に進み、地域の方々に広く恩恵が及ぶような地域の発展を目指してまいります。

この趣旨に御賛同いただき、多くの企業、団体、機関等が本協議会に参加され、南会津地方における再生可能エネルギーの普及に向け共に御尽力くださるようお願い申し上げます。

平成２５年２月

設立発起人代表

みなみあいづ森林ネットワーク　会長　室井　武